



2007年6月29日

当社の環境問題への取組について ～ ネット証券初！グリーン電力の導入～

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、当社の環境問題への取組の一環として、ネット証券では初めて、日本自然エネルギー株式会社（代表取締役社長：三野 治紀 本社：東京都中央区）と「バイオマス発電業務委託契約」を締結し、7月1日より、当社で消費する電力のうち100万kWh分をグリーン電力化することといたしました。これにより、当社では、主力データセンターの消費電力の約20%相当がグリーン電力化され、年間約390トンのCO₂の削減に貢献いたします。

これは、日本自然エネルギー株式会社の提供する「グリーン電力証書システム」に基づき、「グリーン電力証書」を購入し、自然エネルギーによる発電を委託することにより、当社が使用する電力をグリーン電力化とするものです。

自然エネルギーとは、風力、水力、太陽光、地熱、バイオマス（ ）などを指します。「グリーン電力証書システム」とは、企業などがコストを負担し、これら自然エネルギーによる発電を委託する仕組みで、発電施設を持たない企業でも環境への貢献が可能となるものです。

（当社が契約するグリーン電力の発電方法は、国内のバイオマスエネルギーによるものです。）

当社では、今回の取組を初めとして、環境活動への取り組みを一層推進してまいります。

バイオマスエネルギーとは

バイオマス燃料とは、バイオマス（生物資源）由来の燃料です。

バイオマス燃料には、木質ペレット、さとうきびのしぼりかす、下水汚泥・家畜糞尿などから生成されるバイオメタンのほか、サトウキビやトウモロコシを原料としたバイオエタノールなどがあります。このバイオマス燃料を燃焼して、発電された電力をバイオマスエネルギーと呼びます。

